

通信とネットワークの演習 (第 2 回目)

学科・類： 学籍番号： 名前：

授業中に配布した用紙でない場合は、「コピー」と右上に大きく書くこと。
用紙が足りないときは、裏面を使ってよい。

1. 各自のコンピュータ (Windows 7 の場合) で、「スタート」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」をクリックして、端末を表示させ、そこで

```
ipconfig /all
```

と入力し、その結果表示の「イーサネット アダプター ローカル エリア接続」、または「Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続」の項目を見てわかったことを下に記せ。(Mac の場合は、ifconfig コマンドを使う。)

Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続:

```
メディアの状態. . . . . : メディアは接続されていません
接続固有の DNS サフィックス . . . . :
説明. . . . . : Intel(R) Centrino(R) Advanced-N 6250 AGN
物理アドレス. . . . . : 64-80-99-48-DE-E0
DHCP 有効 . . . . . : はい
自動構成有効. . . . . : はい
```

イーサネット アダプター ローカル エリア接続:

```
接続固有の DNS サフィックス . . . . :
説明. . . . . : Intel(R) 82579LM Gigabit Network Connection
物理アドレス. . . . . : F0-DE-F1-95-69-65
DHCP 有効 . . . . . : いいえ
自動構成有効. . . . . : はい
リンクローカル IPv6 アドレス. . . . : fe80::8062:927c:dc58:d9a%10(優先)
IPv4 アドレス . . . . . : 131.112.80.41(優先)
サブネット マスク . . . . . : 255.255.255.192
デフォルト ゲートウェイ . . . . . : 131.112.80.2
DHCPv6 IAID . . . . . : 250666737
DHCPv6 クライアント DUID. . . . . : 00-01-00-01-16-34-1F-EF-F0-DE-F1-95-69-65
DNS サーバー. . . . . : 131.112.80.31
                        131.112.125.58
NetBIOS over TCP/IP . . . . . : 有効
```

と表示される。従って、

ワイヤレスアダプタは使用されていないが、ハードウェアが「Intel(R) Centrino(R) Advanced-N 6250 AGN」で MAC アドレスが「64-80-99-48-DE-E0」であることが分かる。接続された場合は、DHCP を使うことも分かる。

有線のネットワークのハードウェアが「Intel(R) 82577LM Gigabit Network Connection」、MAC アドレスが「F0-DE-F1-95-69-65」であること、DHCP を使っていないこと、IP アドレスが「131.112.80.41」、そのうち上位 26bit がネットワークアドレスであること、IPv6 のアドレスとして「00-01-00-01-16-34-1F-EF-F0-DE-F1-95-69-65」が DHCP で割り当てられていること、デフォルトゲートウェイが「131.112.80.2」、DNS サーバとして「131.112.80.31」と「131.112.125.58」が設定してあることがわかる。